

令和8年度福島県骨粗鬆症検診等実態調査業務
 公募型プロポーザルに係る質問に対する回答(案)

令和8年4月30日
 福島県健康づくり推進課

質問項目	質問内容	回答
募集要領 5 参加資格	骨粗鬆症財団も参加資格があるのかを確認したい。	募集要領5「参加資格に関する事項」を満たしている団体であることが必要です。
募集要領 様式	参加表明書(第2号様式)、暴力団等反社会的勢力でないことの表明・確約に関する同意書(第6号様式)は捺印が必要か。	暴力団等反社会的勢力でないことの表明・確約に関する同意書(第6号様式)のみ、代表者印の押印が必要です。
仕様書 3 業務内容 (2) 業務内容	対象となる医療機関数について、現時点で想定されている件数があれば確認したい。	仕様書外の指定はありませんので、予算の範囲内で有効性、費用対効果を考慮の上、予定件数を企画提案書に盛り込み、御提案ください。
〃	医療機関向け調査の対象範囲について、県として想定している医療機関の範囲は何施設となるか。 また、医療機関リストや連絡先情報の提供は可能か。	調査の対象範囲については、前問と同様の取り扱いとします。 医療機関リストや連絡先情報の提供は、県からはありません。
〃	医療機関アンケート調査について、県として想定している回収率の目安があれば確認したい。 想定された回収率に達しない場合、追加での連絡等はあるか。	仕様書外の指定はありませんので、予算の範囲内で有効性、費用対効果を考慮の上、想定される回収率、回収率に達しない場合場合の対応を企画提案書に盛り込み、御提案ください。
〃	医療機関へのヒアリング調査は対面を想定しているのか。オンラインでの実施でも可能か。また、県の職員の同席は必要か。	ヒアリング調査の方法については、選定医療機関の状況等に応じて対面、オンライン等県と協議の上、実施するものとします。職員の同席の要否も同様です。
仕様書 5 提出書類	「令和8年度福島県骨粗鬆症検診等実態調査業務委託仕様書」の「5 提出書類」に「請求書(第3号様式)」とあるが、この様式の事前の提示は可能か。指定様式通りの請求書の発行が難しい場合、受託者側の様式でも許容可能か。記載項目など条件付きで許容可能であれば条件を提示願えるか。	「請求書(第3号様式)」も含めた、仕様書5の提出書類については、契約の相手方と業務受託仕様を協議する際に提示いたします。